令和 8 年 11 月 17 日公知

文部科学省 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業
GASSHUKU（合宿）と DOJO（道場）によるグローバルスタートアップ人材育成
「日韓みらいファクトリーフォーラム２０２７ in 韓国・江陵」募集要項

１　概要

国立大学法人筑波大学は、令和６年 11 月に文部科学省「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業：GASSHUKU（合宿）と DOJO（道場）によるグローバルスタートアップ人材育成（以下「SI 事業」とします）」に採択され、多様な取り組みを進めています。GASSHKU（合宿）とは、国内で実施する多文化共修プログラム、DOJO（道場）とは海外で実施する多文化共修プログラムのことを示します。

この度、ソーシャルインパクト推進室は、韓国の江原大学江陵キャンパス（Kangwon National University, Gangneung Campus）と連携し、江陵市を舞台に多文化共修を行います。日本と韓国の学生で混合チームを組み、約一週間の対面研修プログラム（別途、事前・事後研修を含む）に参加しながら「江陵市における地域活性化・地方創生」をテーマに、両国の国の知見・資源等を活用して解決するソーシャルビジネスや政策提言のアイデアを構想し発表します。「課題発見および解決能力、異文化コミュニケーション能力、チーム協業能力」を身に着けたグローバル人材に成長し、学生の皆さんのキャリアデザインの道標になることを願っています。両国に共通する社会課題にアプローチし、ソーシャルインパクトの創出を図る、新しい価値の創造体験にご関心のある参加学生を募集しますので、ぜひご検討ください。

【プログラムの詳細と申込はウェブサイトをご参照ください。】
https://miraefactory.jp/2027gangneung/
申込期間：令和 8 年 11 月 17 日（火）09:00～12 月 04 日（金）23:59（先着順とします）

２　参加に関するご案内

日　程：オリエンテーション　令和 8 年 12 月 18 日（金）18:15-19:30
事前研修　令和 9 年 2 月 9 日（火）18:15-20:00
対面研修　2 月 15 日（月）～21 日（日）、事後研修　3 月 2 日（金）18:15-20:00
＊オリエンテーションは対面、事前研修及び事後研修はオンラインで開催いたします。

場　所：【会場】江原大学江陵キャンパス、【宿泊】江陵烏竹韓屋村（韓屋ステイ）

協　力：江原大学江陵キャンパス、江原特別自治道庁、江陵市庁、江陵コンベンションセンター（予定）

人　数：30 人　※韓国からも 30 名の学生が参加します。

対　象：・本学の学士課程及び博士前期課程の学生　※留学生歓迎・国籍不問
・日韓交流や国際交流など多文化共生社会の実現に関心のあること
・今後グローバルなマインドを持って活躍する目標があること
・未来社会のデザイン、ソーシャルビジネス・政策提言に関心があること
・韓国語または英語による日常会話が可能なこと（流暢でなくても申請可能）。

費　用：実質負担 5～7 万円程度（航空費 6 万円＋参加費 5 万円－はばたけ 5 万円）
*その他、現地までの交通費やプログラム中の移動にかかる一部費用は別途負担となります。
*食事は江原大学より原則提供されますが、一部提供されない日もあるためご了承ください。

３　プログラムについて

＜授業名称と担当教員＞

- 授業名称：日韓みらいファクトリーフォーラム 2027 in 江陵
- 担当教員：メナ・アーロン（教育推進課 国際共修担当 特任教授）

＜科目コード＞

- 学類生:【8331453】多文化共修による課題解決実習（海外）Ⅰ-B（１単位/秋学期随時/自由科目）
- 大学院生:【0A00323】多文化共修による課題解決実習（海外）（１単位/通年随時/大学院共通科目）

＜授業概要＞

本プログラムでは、参加学生が日本と韓国の地域社会が抱える共通課題について考察し、それらの課題を克服するための持続可能な発展と未来の創造につながる解決策を共同で創出することを目的とします。具体的には、筑波大学と江原大学の学生が、行政、企業および地域コミュニティとの交流を含むフィールドワークを通じて、江陵市における地域活性化・地方創生の現状と課題への理解を深めます。その上で、多文化共修を通じて得られた知見を活用し、観光振興、産業誘致、まちづくり、スマートシティの推進、多文化共生コミュニティの構築などの観点から、実現可能な解決策を共同で検討・提案します。なお、解決策の発表にあたっては、ストーリーテリング、ロールプレイング、プレゼンテーション動画などの双方国な手法を活用し、提案内容を創造的かつ魅力的に発信することを目標とします。

＜参加申込／履修登録＞

参加申込は、特設ウェブサイトを通じてお願いいたします。このプログラムには定員がありますので、先着順となります。参加決定者に対して 12 月中旬ごろを目処に通知します。筑波大学生については別途、履修登録が必要となりますが、授業担当教員が行うので皆さんが登録する必要はありません。

＜単位及び修了認定について＞

この授業では単位の認定に加え、全日程に参加し、所定課程を修めたと認める者には、日本発のオンライン学習プラットフォームである JV-Campus を通じてデジタル・オープンバッジ（ゴールド）を発行します。デジタル・オープンバッジの有効活用方法については下記サイトを参照ください。学外の方は単位の認定はできませんので、予めご了承ください。（デジタル・オープンバッジは発行いたします）

https://social-impact.projects.tsukuba.ac.jp/digitalbadge

４　その他

このプログラムでは、記録及び広報のため、活動の様子を写真及び動画の撮影を行いますので、予めご承知おき願います。

＜お問い合わせ先＞
国立大学法人筑波大学 教育推進部
教育推進課 国際共修担当
TEL: 029-853-5078
E-mail: social.impact.staff@un.tsukuba.ac.jp

別紙

日程	内容
令和 8 年 12 月 18 日（金） 18:15-20:00 対面実施	＜オリエンテーション＞ 授業に関するガイダンスを行います。
令和 9 年 2 月 9 日（火） 18:15-20:00 オンライン実施	＜事前研修＞ 多文化共修プログラムに参加する上で必要な異文化コミュニケーションの理論と導入、地域活性化を検討する上で必要となる概論を講義します。
2 月 15 日（月）13:00 現地集合 ＊仁川国際空港第２ターミナル	＜対面研修　Day１＞ 江原大学江陵キャンパスへ移動、ホテル・チェックイン
2 月 16 日（火）10:00-18:00 江原大学江陵キャンパス	＜対面研修　Day2＞ チーム作り、アイスブレイク、チーム活動
2 月 17 日（水）10:00-18:00 江原大学江陵キャンパス	＜対面研修 Day3＞ フィールドワーク及び文化体験、チーム活動 特別講演（企業関係者など）
2 月 18 日（木）10:00-18:00 江原大学江陵キャンパス	＜対面研修 Day4＞ フィールドワーク及び文化体験、チーム活動 特別講演（韓国側行政関係者など）
2 月 19 日（金）10:00-18:00 江原大学江陵キャンパス	＜対面研修 Day5＞ フィールドワーク及び文化体験、チーム活動 特別講演（日本側行政関係者など）
2 月 20 日（土）10:00-18:00 江原大学江陵キャンパス	＜対面研修 Day6＞ 最終発表会、閉会式
2 月 21 日（日）14:00 現地解散 ＊仁川国際空港第２ターミナル	＜対面研修 Day7＞ ホテル・チェックアウト、仁川国際空港へ移動
3 月 2 日（金）18:15-20:00 オンライン実施	＜事後研修＞ プログラム全体の振り返りを個人そしてチームメンバー間において省察し、キャリアデザインを展望します。

＊授業内容は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。